



花き生産情報第5号

平成28年8月18日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

換気や遮光をこまめに行うなど、ハウス内の温湿度管理を徹底しましょう！
切り花の品質保持のため、収穫は涼しい朝夕の時間帯に行いましょう！

夏秋ギク

1 生育状況

生育は概ね順調で、収穫作業は平年並となっている。
病虫害は、白さび病、アザミウマ類、ヤガ類等の発生が散見される。

表1 収穫物調査

場所	年次	品種	定植月日 (月日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	採花本数 (本/a)	収穫盛期 (月日)
平川市	本年	岩の白扇	4月30日	103.4	75.9	2,880	8月7日
	(平年差・比)		4日遅れ	98%	99%	123%	4日遅れ)
	平年	岩の白扇	4月26日	105.6	76.5	2,333	8月3日
前年	岩の白扇	5月2日	98.1	70.1	2,496	8月3日	

(注) 平年値：平成20～27年の平均値
栽植本数等(本年)：1,600本/a、2本仕立て

2 今後の作業

(1) 病虫害の防除

病虫害防除は、白さび病の予防散布を定期的に行うほか、ハダニ類、アザミウマ類等の早期発見・早期防除に努める。

(2) 親株の確保

収穫が終わった株を翌年の親株にする場合は、病虫害の発生株や生育の劣る株を抜き取り、健全なものを残す。

(3) 親株の管理

親株は、地際から約10cmの高さで刈り込み、直ちに追肥し、土寄せする。
追肥量は、アール当たり窒素成分で0.2～0.3kgを目安とする。

秋ギク

1 生育状況

生育は順調である。

病害虫は、白さび病やアザミウマ類等の発生が散見される。

表2 生育調査（8月10日現在）

場 所	年 次	品 種	定植月日 (月日)	草 丈 (cm)	葉 数 (枚)	備 考
八戸市	本 年	神馬2号	7月19日	33.0	19.6	無摘心
(参考) 新郷村	前 年	神馬2号	7月21日	17.8	14.4	無摘心
(参考) 新郷村	一昨年	神馬2号	7月21日	20.0	13.7	無摘心
五所川原市	本 年	神 馬	7月4日	38.9	20.7	2本仕立て
	前 年	神 馬	7月4日	41.6	20.4	2本仕立て
	平 年	神 馬	7月7日	33.0	17.4	2本仕立て

(注) 八戸市は生育調査場所を変更したので、前年、一昨年との比較に注意
五所川原市の平年値：平成22～27年の平均値

2 今後の作業

(1) 芽かき

わき芽は、小さいうちにかき取る。

(2) ビーナイン処理（施設栽培のみ）

花首の伸びやすい品種は、発蕾期から摘蕾期にビーナイン顆粒水溶剤等を散布する。

(3) 病害虫の防除

病害虫防除は、白さび病の予防散布を定期的に行うほか、ハダニ類、アザミウマ類等の早期発見・早期防除に努める。

トルコギキョウ

1 生育状況

生育は概ね順調である。

病害虫は、アザミウマ類等の発生が散見される。

表3 収穫物調査

場 所	年 次	品 種	定植月日 (月日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	節 数 (節)	収穫盛期 (月日)
青森市 (参考)	本 年	はるか	4月1日	71.6	78.9	13.4	8月7日
	前 年	はるか	4月11日	61.8	49.0	14.2	8月7日
	一昨年	シュークリーム	4月3日	78.0	93.0	13.6	8月10日
田舎館村	本 年	セブ`ピンク	4月26日	74.9	126.1	13.2	8月9日
	前 年	セブ`ピンク	4月24日	72.6	103.8	13.3	8月7日
	一昨年	セブ`ピンク	4月19日	78.0	126.7	14.9	8月5日

(注) 青森市の一昨年の品種(シュークリーム)が異なっており比較に注意

2 今後の作業

(1) かん水

かん水量は、発蕾後の茎葉が軟弱徒長しないように徐々に減らす。

(2) 温度管理

ハウス内の温度は、換気や循環扇、寒冷紗等を活用し、日中25℃以上にならないよう管理する。

(2) 病害虫の防除

病害虫防除は、灰色かび病の予防散布を定期的に行うほか、アザミウマ類、ヤガ類、ハモグリバエ類の早期発見・早期防除に努める。

(3) 収穫・調製

収穫は、品質保持のため、涼しい朝夕の時間帯に行う。また、前処理剤を使用すると日持ちが数日延長する。

次回の「花き生産情報第6号」は平成28年9月20日発行の予定です。

農作業中の熱中症に注意しましょう！

～熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です～

農薬危害防止運動実施中(5月1日～8月31日)

決め手は土づくり！「日本一健康な土づくり運動」展開中！